

博物館資料保存論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 次の文章の () にあてはまる適切な語句を、それぞれア～ウから選び、**解答欄**にはその記号を記しなさい。(各4点)

(1) 文化財修理における補彩は、現状維持修理という原則に基づき、欠失部の絵や線を描き足すのではなく、画面の素地の色に合わせた (①) が行われる。

(2) 日本の照明学会による推奨照度 (1999年) では、展示物は光に対して「非常に敏感」「比較的敏感」「敏感でない」の3つのカテゴリーに分類されており、「非常に敏感」の推奨照度は (②) 以下とされている。

(3) 後世に残すことが難しくなっている遺産について、世界遺産—危機遺産—リストに登録して保護する制度の条約が1972年に (③) で採択され、日本も1992年に批准した。この条約では、「記念工作物 建築物、記念の意義を有する彫刻及び絵画、考古学的な性質の物件及び構造物、金石文、洞穴住居並びにこれらの物件の組合せであって、歴史上、芸術上又は学術上顕著な普遍的価値を有するもの」などを (④) 遺産、「無生物又は生物の生成物又は生成物群から成る特徴のある自然の地域であって、観賞上又は学術上顕著な普遍的価値を有するもの」などを (⑤) 遺産、この両方を兼ね備えるものを複合遺産として登録が行われる。

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| ① ア. 復元補彩 | イ. 地色補彩 | ウ. 充填補彩 |
| ② ア. 50lx | イ. 100lx | ウ. 150lx |
| ③ ア. 国連総会 | イ. ユネスコ | ウ. イコム |
| ④ ア. 有形 | イ. 歴史 | ウ. 文化 |
| ⑤ ア. 自然 | イ. 生命 | ウ. 環境 |

2. 次の用語の中から 4つ選択し、その番号を記し簡潔に説明しなさい。(各5点)
(5つ以上を解答した場合は無効とする)

- (1) 空気汚染物質
- (2) 調湿剤
- (3) コンディショニングレポート
- (4) 馴染
- (5) エックス線ラジオグラフィ
- (6) 可逆性

3. 多人数来館者に伴う展示室でのリスク管理について、人と博物館資料のそれぞれの観点から、留意すべき事柄を200字以内で述べなさい。(15点)

4. 「文化財保護法」が示す「文化的景観」について説明し、「文化的景観」に対して博物館ではどのような対応の実施が必要と考えるか、200字以内で述べなさい。(15点)

5. 博物館資料の保存カルテがもたらす効果について、以下の用語を 5つ以上使い、400字以内で述べなさい。(30点)

(劣化	調査	診断	旧修理	予防保存
	修理保存	公開	保存	特別展	常設展
)					